

GVインバーター専用 並列コネクター 取扱説明書

使用上の注意

警告 人が死亡または、重傷などを負う可能性が想定される内容です。

- ❗ 本品は、工進製発電機の同出力機種を2台のみ並列運転するための専用コネクターです。下記の「各部の名称」にて対象機種が合っていることを必ず確認の上で使用ください。
- ⊘ 電力会社からの電気配線には絶対に接続しないでください。本機や本機に接続された電気機器が故障したり、火災や人身事故の原因となります。
- ⊘ コンセントにピンや針金などの金属物をさし込まないでください。感電の原因となります。
- ❗ 並列運転には、専用並列コネクターのみ使用できます。専用並列コネクター以外は絶対に接続しないでください。感電のおそれがあります。
- ❗ <1.6kVA>並列運転中は、専用並列コネクターのコンセントからのみ電力を取り出してください。発電機のコントロールパネルのコンセントは使用しないでください。
- ❗ 並列運転中は、専用並列コネクターを外さないでください。並列コネクターはエンジン始動前に接続し、エンジン停止後に外してください。
- ❗ 専用並列コネクターの発電機への接続、および電気機器のコンセントへの接続は、奥までしっかりとさし込んでください。
- ❗ 使用においては、必ず発電機本体の取扱説明書をお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ⊘ 雨の中や水のかかる場所では使用しないでください。雨や水で濡れている状態で本機や本機に接続された電気機器を使用したり、濡れた手で操作したりすると、感電の原因となります。

注意 人が損傷を負う可能性及び物的損傷の発生が想定される内容です。

- ❗ 専用並列コネクター及び発電機のコンセントには、必ず適合するプラグをさし込んでください。
- ❗ 並列運転をしないで単独運転をするときは、必ず発電機から専用並列コネクターを外してください。
- ⊘ 2台の発電機がそれぞれ単独運転をしている状態で専用並列コネクターを接続しないでください。
- ⊘ 専用並列コネクターを接続したまま、一方の発電機のエンジンを止めて電力を取り出さないでください。

お願い 発電機の使用に際しては法律や規則がありますので、労働安全衛生規則、消防法、電気事業法などに従ってください。

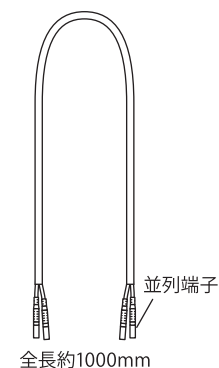
各部の名称

0.9kVA (900W) 用

対応機種：GV-9i、GV-9ig、GV-9SE

部品番号：0650556

AC100V 合計16A

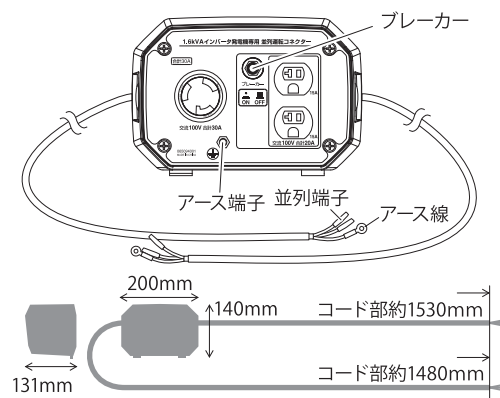


1.6kVA (1600W) 用

対応機種：GV-16i、GV-16SE

部品番号：0650940

AC100V 合計最大30A*

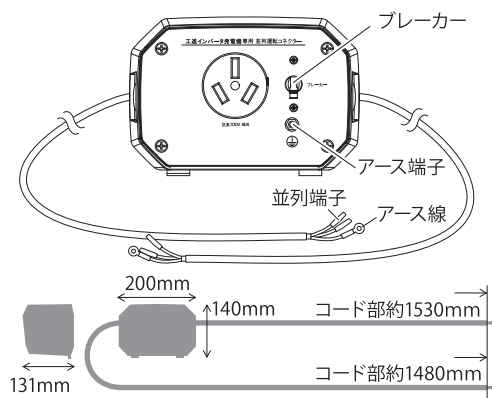


3kVA (3000W) 用

対応機種：GV-28i、GV-28iF、GV-29i

部品番号：0650843

AC100V 合計最大60A*



*取り出せる電気について、詳しくは発電機本体の取扱説明書をご確認ください。

	0.9kVA	1.6kVA	3kVA
電気の取り出し元	発電機のコントロールパネルから	並列コネクターのコントロールパネルから ⚠️注意 並列コネクターを接続している時は、発電機のコントロールパネルから交流電気を取り出さないでください。	発電機または並列コネクターのコントロールパネルから

使用方法

1 発電機(同出力機種2台)の準備をする。

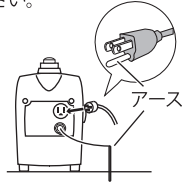
①発電機2台を停止させる。②コンセントに電気機器のプラグが接続されていれば全て取り外す。③周波数切替スイッチを、使用する電気機器と同じ周波数に合わせる。

2 発電機にアース端子を接続する。

※アース棒は付属していません。別途、お買い求めください。

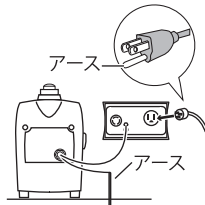
〈0.9kVAの場合〉

発電機に接続する電気機器がアース付きプラグの場合、発電機も必ず接地(アース)してください。

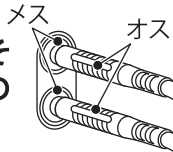


〈1.6kVA及び3kVAの場合〉

並列コネクタに接続する電気機器がアース付きプラグの場合、並列コネクタから発電機、及び発電機から地面へ必ず接地(アース)してください。

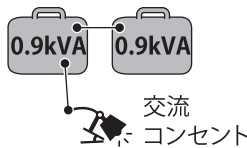


3 並列コネクタの並列端子(オス)をそれぞれの発電機パネル内にある同色の並列端子(メス)にしっかりとさし込む。



【正しい接続例】

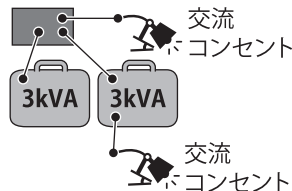
〈0.9kVA〉



〈1.6kVA〉



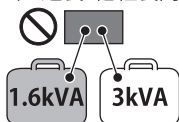
〈3kVA〉



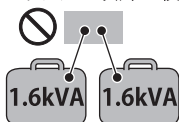
※直流は本体の直流シガーソケットをお使いください。
直流シガーソケット使用時には、エコモードを「OFF」にしてください。

【まちがった接続例】

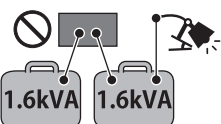
・発電機の機種が異なる(工進製・他社製問わず)



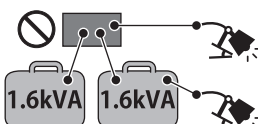
・工進純正の専用並列コネクタ以外の使用



・〈1.6kVA+3kVA〉
並列コネクタを接続しながら、発電機から直接定格を超えた電気を取り出す



・〈1.6kVA〉
並列コネクタと発電機のコンセント、同時に交流電気を取り出す



※並列コネクタが意味を成しません。
発電機が故障するおそれがあります。

⚠注意

・発電機のマフラー側に並列コネクタを設置しないでください。マフラーからの排気熱によりケーブルを損傷するおそれがあります。

以下④～⑦の発電機の詳しい使用方法は、発電機本体の取扱説明書をご覧ください。

4 「発電機(エンジン)のかけ方」に従って、発電機のエンジンを順次始動する。

5 接続する電気機器のスイッチが切れていることを確認し、電気機器のプラグを以下へ確実にさし込む。

〈0.9kVAの場合〉

いずれかの発電機のコンセントへさし込む

〈1.6kVAの場合〉

並列コネクタのコンセントへさし込む

〈3kVAの場合〉

発電機または並列コネクタのコンセントへさし込む

消費電流の合計が上限を超えないようにしてください。

消費電流の合計	0.9kVA	1.6kVA	3kVA
	16A	30A	60A

6 電気機器のスイッチを入れる。

電気機器を起動した後、一方の発電機の運転を停止するときは、電気機器の電源をオフにし、発電機のエンジンを2台とも停止してから並列運転コネクタを外してください。エンジン運転中(発電中)の並列運転コネクタの抜き差しは、感電のおそれがあり危険です。

7 停止

電気機器のスイッチを切った後、プラグをコンセントから抜きます。発電機を1台ずつ停止させ、その後、2台の発電機から並列コネクタを取り外してください。

お問い合わせ

●製品・パーツの販売についてのお問い合わせは…
購入店またはお近くの弊社製品お取扱店にご相談ください

●製品の修理に関するお問い合わせは…工進修理受付窓口 **ダイレクト修理**
(※北海道・沖縄を除く)

☎ **0120-987-386**

●製品に関するお問い合わせは…お客様相談窓口

✉

pump@koshin-ltd.co.jp



☎ **0120-075-540**

キョウトのコージン

電話受付時間 平日：9:00～17:00 会社休業日・土日祝祭日を除く。
受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。

【個人情報の取り扱いについて】

お客様の個人情報保護方針は、弊社ウェブサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

株式会社 **工進**

〒617-8511 京都府長岡京市神足上八ノ坪12
<https://www.koshin-ltd.co.jp>

23-10 065094303